

＜巻頭言＞研究のつながり

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 東北学院大学大学院人間情報学研究科 公開日: 2025-06-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松尾, 行雄 メールアドレス: 所属:
URL	https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/2000607

〈巻頭言〉研究のつながり

人間情報学研究科長 松尾 行雄

2025 年 2 月に人間情報学研究科に所属する博士課程の学生の発表会が行われ、計 25 名の発表を聞くことができました。前期課程 2 年生の発表については、1 年前のことを思い出しながら、研究成果を聞く機会となりました。25 名の発表は、日本語学、心理学、情報学など、教養学部を母体とする人間情報学研究科らしく多様な専門分野から構成されていました。発表では、それぞれの専門分野における課題とそれをどのように解決していくのかについてわかりやすく説明していただきました。そのおかげで、異なる分野の話を理解することができる機会になったと思います。博士課程に入るとより専門性が高まり、専門用語を使う頻度も増えますが、指導教官の指導のもと、学生の皆さんが丁寧に発表準備をしてくれたおかげだと感じています。

ここで、異分野とのかかわりに関して、自分の研究生生活を振り返ってみたいと思います。学会等であう異分野の人とのコミュニケーションによって、新しい展開が生まれたこともありました。例えば、異分野の研究における視点が自分の研究に役に立ち、新しいアイデアや展開が生まれたことがありました。また、自分がやっていた研究が異分野に活かせる可能性があり、新しい分野に挑戦するきっかけとなったこともありました。このようなことも、最初は、ほんの 10 分程度の話から始まり、最終的には共同研究につながったこともありました。自分とは異なる分野だから関係ないと思うのではなく、共通性や相違性を理解することで、新たな研究の素材が生まれたのかなと、ふと思ったりしています。

本稿では、令和 6 年度人間情報学研究科の歩みの記録をお届けいたします。研究を行ってきた学生や同僚の活躍をぜひ振り返っていただければと思います。そして、もしかしたらその中に新しいアイデアを生み出すヒントがあるかもしれません。ぜひ、ワクワクする気持ちで読んでいただければと思います。

最後に、2024 年度は 14 名が修士号を、2 名が博士号を取得しました。研究科を代表してお祝い申し上げますとともに、今後さらに各自の研究を発展されることを期待しております。

2025 年 2 月